

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 三田市

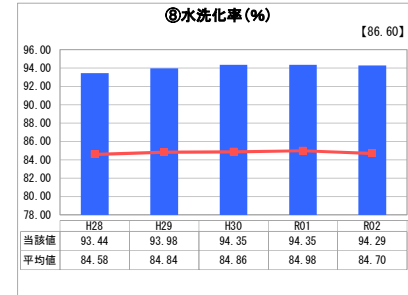
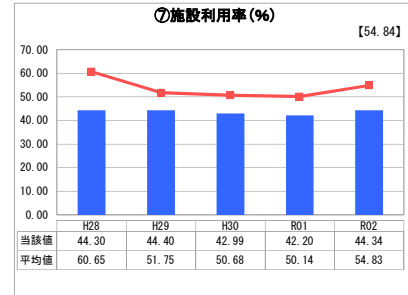
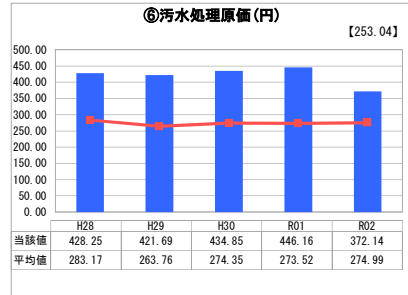
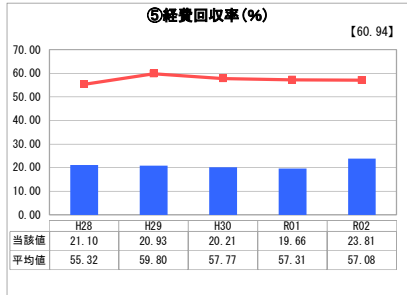
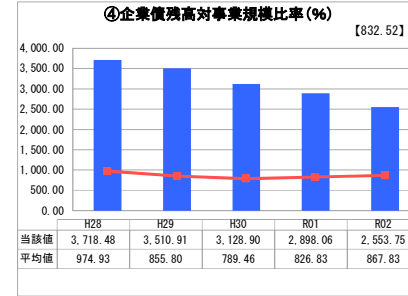
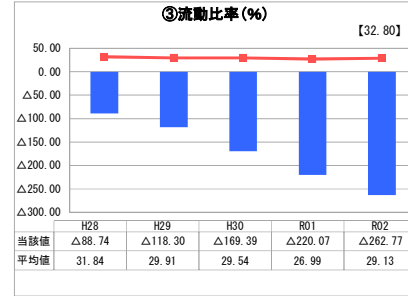
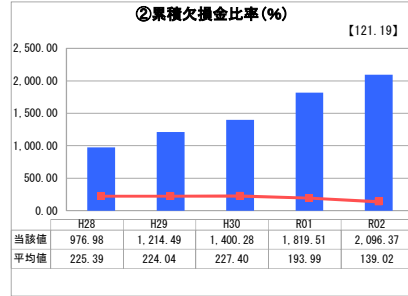
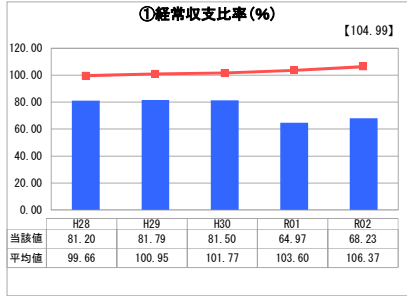
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	45.67	4.37	88.79	1,587

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
110,863	210.32	527.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,819	1.91	2,523.04

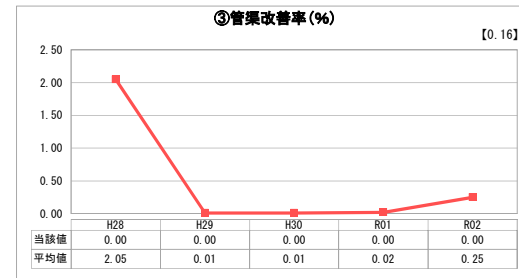
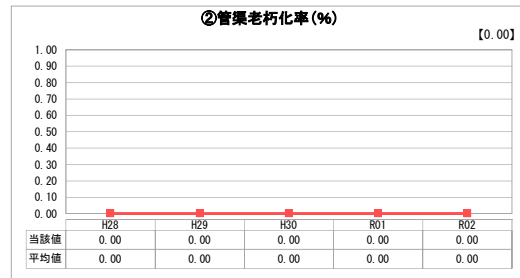
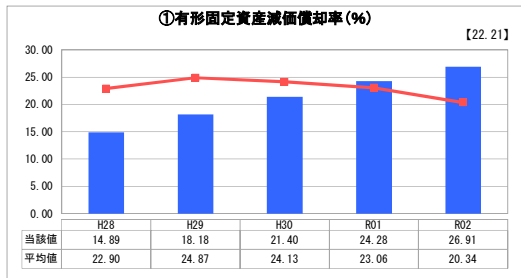
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水については、市内8処理区8処理場を所有しています。①経常収支比率、⑤経費回収率、⑦施設利用率等いずれも類似団体に比べ低く、⑥汚水処理原価は高い状況にあり、効率が悪いことを示しております。三田市の農集地域は、地形の影響からその谷毎に処理場を設置しなければならず、この谷を越えて処理区域を統合することが困難なためです。唯一類似団体と比較して良い点は、⑧水洗化率が高いことです。また、人口減少、生活様式の変化によって使用料も減収傾向にあり、増収は見込めません。

また今年度は前年度より修繕等が少なかったため、経常収支比率が改善していますが、今後はさらに機器の老朽化により修繕費用が増大することも考えられるため、早急に経営改善を図っていく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

農業集落排水は、平成8年度から供用開始しており、耐用年数を経過した管渠資産はありません。農集のみならず三田市は、一時期に一度に整備した資産が多いことから、更新については、平準化するよう計画的な対策が必要となってきます。そのため、平成30年度に策定した農業集落排水施設の最適整備構想に基づいて、管渠等の施設の計画的かつ効率的な管理、改良及び更新を進め、コスト縮減、整備の平準化に取り組んでいきます。

## 全体総括

人口減少や生活様式の変化等により、使用料収入も減収傾向になることが予測されます。また、効率の悪い事業が経営を圧迫してきていることから、財源の確保が必要です。

これらの課題を解決すべく、今後の下水道事業の方向性を示した「下水道ビジョン」及び今後の下水道事業の投資・財源見直しを中心とした中長期的な経営基本計画である「経営戦略」を策定しました。そして、令和2年度に上下水道事業経営審議会から適正な使用料について答申を受け、令和3年1月に約30%の使用料の値上げを行いました。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみを類似団体平均値及び全国平均を算出しています。